

第7号 (2010年) 目次

特集：ハンス・ヨナスと生命倫理の行方

(ウィリアム・ラフルーア教授追悼)

まえがき

杉村靖彦 (3)

Peripheralized in America: Hans Jonas as Philosopher and Bioethicist

William R. LaFleur (6)

ハンス・ヨナスと日本生命倫理をめぐって

—W. ラフルーア氏京大講演へのコメントを中心に—

安藤泰至 (28)

William R. LaFleur 教授の” Peripheralized in America:

Hans Jonas as Philosopher and Bioethicist” にたいする質問

品川哲彦 (43)

ヨナスは、なぜ、いかにして日本に「積極的に受容」されたか

——ラフルーアの見解と日本からの応答——

品川哲彦 (49)

---

公募論文

ナベールにおける「自己を問うこととしての自己を理解すること」

山内誠 (65)

レヴィナスの「顔の彼方」——無限責任の成就？

根無一行 (78)

---

編集後記

(115)